

平成30年度文部科学省/和水町教育委員会指定
「小・中学校等における起業体験推進事業」

和水町立三加和中学校 起業体験活動



和水町立三加和中学校
〒861-0913 熊本県玉名郡和水町板楠1001番地

TEL 0968-34-2134 FAX 0968-34-2660
E-mail mkw-jh-info@nagomi-edu.net
URL <http://jh.higo.ed.jp/mikawa/>



1 ガイダンス

ガイダンスの実施

2回のガイダンスを実施しました。①起業体験プログラムの概要説明及び株式会社の仕組みの学習、②金栗四三翁マラソン大会における過去の参加人数や出店の状況等のマーケットリサーチ及び運営における課題等について学びました。



2 ビジネスプランの作成

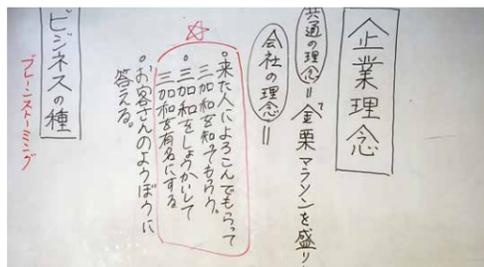
会社役員の役割分担例 (13人で構成する場合)

役職	役割	人数
社長	会社のリーダーとなる	1
会計担当役員	お金を管理する	1
製造担当役員	商品をつくる	3
営業担当役員	商品を売る	3
広報担当役員	宣伝を行う	2
物品担当役員	製造や販売に必要な道具や材料を集める	2
監査役	会社をチェックする	1

※顧問として、1教師が1会社を担当し、助言しました。

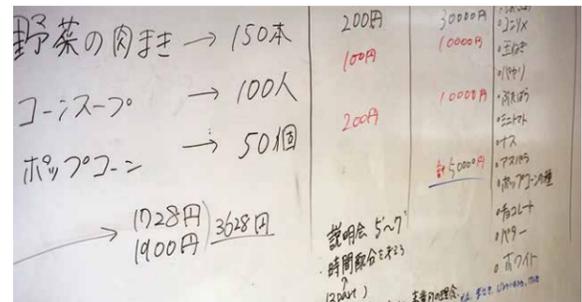
企業理念の設定

全社共通の企業理念「金栗マラソン大会を盛り上げよう」を設定し、その後、各社の企業理念を設定しました。



商品の製造・販売に要する材料・備品のコスト調べ

大まかな費用を調べることで、会社設立の費用を想定し、事業説明会で集める出資金の目標額を設定しました。



各社の販売商品

会社名	販売商品
(株)田代の中学いも	大学いも
(株)中籠包	小籠包、いきなり団子
(株)ベジKing	野菜の肉巻き、オニオンスープ、ポップコーン等
(株)MIKAベビ	ベビーカステラ
(株)てがルン	缶バッジ、クリアファイル等
みかだ株式会社	ミニドーナツ、飲み物

3 ビジネスプランの提案

事業説明会

保護者・地域・PTA・JPXを対象に事業説明会を実施し、企業理念や販売する商品、予想される経費等を説明し出資を募りました。

6社合計で342,000円の出資が得られました。



3 投資を受ける

各社が受けた投資額

会社名	投資額	投資額の内訳		
		JPX	PTA	保護者等
(株)田代の中学いも	60,000円	18,000円	10,000円	32,000円
(株)中籠包	50,000円	27,000円	10,000円	13,000円
(株)ベジKing	61,000円	29,000円	10,000円	22,000円
(株)MIKAベビ	40,000円	3,000円	10,000円	27,000円
(株)てがルン	60,000円	35,000円	10,000円	15,000円
みかだ株式会社	61,000円	34,000円	10,000円	17,000円

※出資金の上限を原則60,000円に設定し、保護者・地域の方から出資を募った後、PTAとJPXに出資を頼みました。

4 会社の設立

定款・登記簿の作成、株券の発行

4 出店準備

予算書の作成

(株)ベジKing 会計予算		
項目	予算額	摘要
1 出資金	60,000	JPXから 1,000円×28株 PTAから 1,000円×10株 保護者から 1,000円×22株
2 雑収入	0	
合計	60,000	
支出の部		
項目	予算額	摘要
1 出資料	500	
2 保証金	500	
3 借入金	534	4,000 豚(9玉)2玉 100×200円 4,000 ミニトマト200個 1個20円 2,000 なす125本 1本80円 4,000 豚キムチ 20本 1本200円 300 豚しょうゆ 400 ポップコーンの種 1kg 400円 300 チョコチップ 300円
4 材料費	205	600 ママネギ10玉 1玉60円 400 豚バサリ2玉 2,000 コーンスープの具(缶詰105個) 400 ホットプレート2台 (100円×2)×2 200 ポップコーン機1台 100円×2 400 カスコン2台 (100円×2)×2 800 肉じゃが、芋じゃが、鶏、ポウチ(400円×2) 1,500 販売品に使う雑貨(竹、紙コップ、袋等)
5 設備費	200	200 印刷作成代 1,000 テーブルと椅子代金 500円×2 2,000 用具運搬のための車台 2台×2 2,500 カスコン12本 2500円 1,000 養生テープ 30,250 その他手賃
6 その他	1,000	
合計	60,000	

営業許可証の取得・出店申込の申請

品名	数量	単価(円)	品目	数量	単価(円)
野菜の肉巻き	50本	200円	野菜の肉巻き	50セット	500円
オニオンスープ	100杯	100円	ポップコーン	40袋	200円
ポップコーン(中30杯)	35袋	230円			

商品の試作



出店申請を金栗四三翁マラソン大会実行委員会へ、営業許可申請を熊本県有明保健所へそれぞれ行いました。

1 キャリアの育成（中でも「勤労観・職業観」の育成）における本校の課題

- 少人数・同メンバーで長期間生活することによる競争心や向上心の低下。
- 「職場体験学習において、選ぶ職業の種類が制限される」といった外的刺激の少なさ。

多様な人の生き方に触れさせ、人生の展望を持たせる指導が難しい。

この課題を解決するため、総合的な学習の時間を用いて起業体験活動に取り組みました。

2 本校における起業体験活動の目標

- 実際の経済活動を体験することで、起業家精神の芽生えを育むなど、チャレンジ精神を育成します。
- 生まれ育ったふるさとの振興に関心を持たせることで、地域に貢献する態度を養うとともに、自己有用感を育みます。
- 社会参加や体験活動の経験を通して、自己肯定感を高めるとともに、社会の一員としての自覚を促します。
- 様々な人との出会いを通して、生徒が自らの生き方を考えるきっかけとし、職業人としての将来を展望する機会とします。

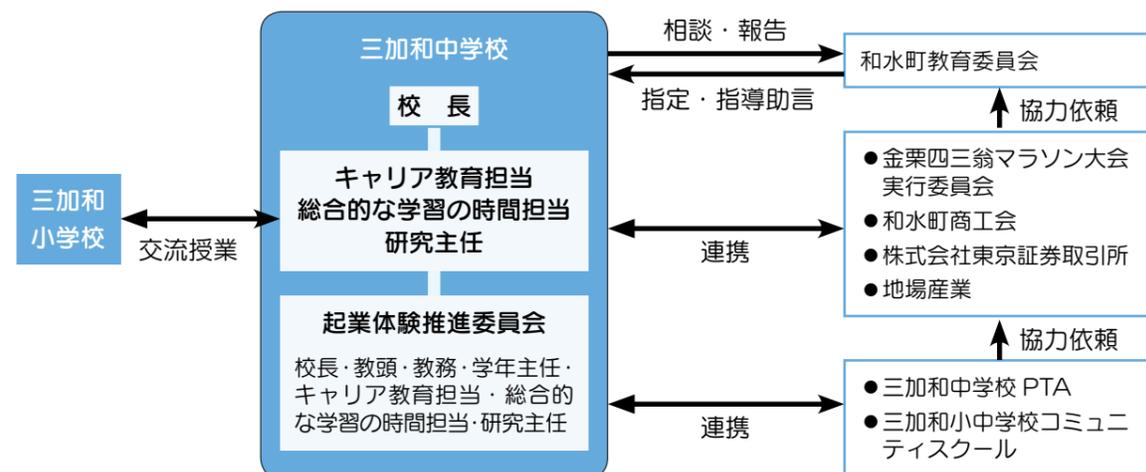
3 本校における起業体験活動の内容

各学年2社、計6社の株式会社（模擬会社）を設立します。各社は自ら掲げた企業理念やそれに基づく事業計画を保護者や地域住民に示すことで、資金を募ります。そして、集まった

出資金を元に商品を製造（調達）し、校内文化発表会及び金栗四三翁マラソン大会で販売します。販売後は株主総会を開いて、決算と利益の分配に関する決議及び会社の解散を行います。

4 起業体験活動推進の組織

本活動は、JPX（日本取引所グループ）が実施する「起業体験プログラム」に則り、株式会社東京証券取引所の助言・支援を受けながら実施しました。



5 実施時間（総合的な学習の時間を用いて実施）

第1学年：34時間、第2学年：39時間、第3学年：30時間

6 取組の成果と課題

取組に対する成果と課題の検証・考察は、次項の3つの質問紙調査と、生徒が書いた文章をもとに行いました。なお、表内の数値は肯定率（4件法で調査し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合）を示しています。

● 生徒の声から

- 最初は、起業体験プログラムは大変だし面倒くさいなと思っていました。でも、やってみて大変だったけれどお客様の笑顔を見てうれしかったので、起業体験プログラムをやってよかったと思いました。
- みんなとよく話し合いながら状況を把握していないとうまくいかないことがわかりました。細かいところまでいろんなことをイメージしておくのが大切なことを学びました。
- 僕はいろいろな仕事を体験しました。その中でも商品の値段や赤字ラインの計算が最も大変でした。仕事はこんなに大変ということを学びました。
- 僕は将来、起業して社長になりたいと思っていました。今回の起業体験を通して、仮でも社長という立場で、大変なこと、楽しいことを学ぶことができたので、社長になりたいという気持ちが強くなりました。



成果

- 起業体験活動を通して、起業家精神（中でもチャレンジ精神）、社会の一員としての自覚、ふるさとの振興に対する関心、地域に貢献する態度を高めることができました。
- 起業体験活動が、職業人としての将来を展望する機会（場）となることがわかりました。
- 起業体験活動を通して、キャリア教育における基礎的・汎用的能力のうち、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」を高めることができました。

	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
実施前	86.8%	66.7%	68.2%	72.1%
実施後	89.2%	71.8%	71.3%	65.3%

課題

- 起業体験活動による自己肯定感の高まりを見取ることができませんでした。他のすべての教育活動とリンクさせながら、自己肯定感を高める取組を行わねばならないと、感じています。
- キャリアプランニング能力を高めるための方策を考え、実践しなければならぬと、感じています。

三加和中学校起業体験活動を通しての生徒の変容

※すべての表内の数値は肯定率を示す（4件法で調査し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と、回答した生徒の割合）。

● キャリア教育アンケート（「中学校キャリア教育の手引き」平成23年3月 文部科学省 を使用）

基礎的・汎用的能力	質問項目	3月	12月
人間関係形成・社会形成能力	友だちや家の人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受けとめようとしていますか。	91%	96%
	相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとしていますか。	88%	82%
	自分から役割や仕事を見つけたり、分担したりしながら、周囲と力を合わせて行動しようとしていますか。	81%	91%
自己理解・自己管理能力	自分の興味や関心、長所や短所などについて、把握しようとしていますか。	72%	71%
	気持ちが沈んでいる時や、あまりやる気が起きない物事に対する時でも、自分がすべきことには取り組もうとしていますか。	79%	82%
	不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしていますか。	49%	64%
課題対応能力	分からないことやもっと知りたいことがある時、自分から進んで資料や情報を収集したり、だれかに質問をしたりしていますか。	65%	69%
	何か問題が起きた時、次に同じような問題が起こらないようにするために、何をすればよいか考えていますか。	72%	80%
	何かをする時、見通しを持って計画的に進めたり、そのやり方などについて改善を図ったりしていますか。	67%	66%
キャリアプランニング能力	学ぶことや働くことの意義について考えたり、今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えたりしていますか。	72%	75%
	自分の将来について具体的な目標をたて、その実現のための方法について考えていますか。	70%	60%
	自分の将来の目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりしていますか。	74%	62%

※前年度の第1・2学年生徒（現、第2・3学年生徒）を対象に、H29.3月とH30.12月に実施。

● キャリア教育に関するアンケート（本校が作成した質問紙）

質問項目	5月	12月
自分のやりたいことのために会社を作りたい	22%	31%
自分で自分のことが好き	51%	46%
人の役に立つことをしたいという気持ちがある	84%	86%
住んでいる地域が今以上に発展してほしい	81%	83%
自分でも地域のために何かできることがある	68%	74%
自分の将来の生き方について考えることがある	71%	74%
働いている人から話を聞くことは自分の将来のために必要だ	86%	89%
将来やってみたい仕事がある	62%	71%

※今年度の5月と12月に、全生徒を対象に実施。

● 平成30年度全国学力・学習状況調査（質問紙から一部抜粋）

質問項目	4月	12月
自分でも地域のために何かできることがある	50%	68%
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある	30%	59%
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたことがある	5%	40%

※今年度の4月と12月に、第3学年生徒を対象に実施。